

### 運転見通し見えず窮策

#### 東北電力 電気料金値上げ申請

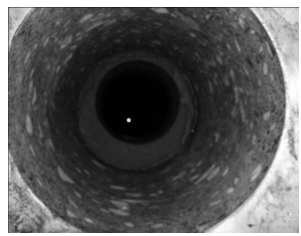
東北電力は十四日、電気料金の値上げを経済産業省に申請した。震災影響を受けた設備の復旧コスト、原子力停止に伴う燃料費の増加が積もる中、コスト負担を現行の料金水準で吸収することが困難との判断から、規制部門で平均一・四一%、自由化部門で同一七・四%の値上げを行うもの。東日本大震災後、値上げ申請は、東京電力、関西電力、九州電力に続いて四社目。

一五年度の期間で原価算定を行っており、原子力発電については、東通1号機を一五年七月に再稼働することを織り込んだ。女川1〜3号機の再稼働は一六年度以降と見られている。原子力発電所の運転見通しに関し、海輪社長は「依然として不透明な状況」と述べた上、東通については、敷地内断層の追加調査や新安全基準を考慮した安全対策

### 穴開けトールラス室検査

#### 福島第一 線量計など吊るし

東京電力は福島第一原子力発電所1号機の格納容器の圧力抑制室(サブレーション・チェンバー)に入っているコンクリートで囲われた「トールラス」の内部を遠隔検査するため、十四日、原子炉



福島第一原子力発電所1号機の格納容器の圧力抑制室(サブレーション・チェンバー)に入っているコンクリートで囲われた「トールラス」の内部を遠隔検査するため、十四日、原子炉

等を通じた上で算定期間内の供給力に織り込み、女川については、震災による復旧工事に加え、地震・津波評価や、耐震裕度工事など、時間を要することから、供給力からはずしたと説明している。電気料金値上げ申請を受け、経産省は、電気事業法に基づき、五月に公聴会を行う。

### カザフスタンと協力覚書締結

#### 原電・丸紅ユティリティ 原子力導入支援

日本原子力発電会社と丸紅ユティリティは、カザフスタン国立原子力センター(NNC)と同日、カザフスタンに原子力発電所建設に向けた協力に関する覚書を締結した。カザフスタンが原子力発電導入を進める過程で、カザフスタンにおける原子力発電所建設への協力(4)同国における原子力発電所建設への協力(5)同国における原子力発電所の運転への支援(6)その他当事者間で合意される事項について協力・支援を行うとしている。今回の覚書締結は、二〇〇七年四月のカザフスタンへの官民合同ミッションで日本原子力発電会社がNNCなど関係機関と締結している。次々世界第二位で世界シェアの二〇%を占め、生産量は二〇〇九年に世界第一位となった。カザフスタンは二〇一〇年三月に原子力協定署名を締結している。

内田氏は、原子力研究開発の黎明期に旧科学技術庁で動力炉開発分野などに携わり、研究開発局長、科学審議官などの要職を歴任、八七年〜八九年に事務次官を務め、退任後は、海洋科学技術センター(現海洋研究開発機構)、宇宙開発事業団(現宇宙航空研究開発機構)の理事長などを務めた。〇三年に瑞重光章

### 故郷荒廃に悲しみと憤り

#### とみおか未来会議 町民が本音の声を

主に福島県内に避難する富岡町民約百六十人が十六日、福島県郡山市のビッグパレットふくしまに集まり、町民の意見を自治体と国へ伝える公開討論会「とみおか

未来会議」(II写真)を開催した。会議は、とみおか子ども未来ネットワーク(市村高志代表)主催した。主催者挨拶に続き、震災から二年間振りをたためた富岡町の映像を音楽とともに上映。津波被害にあった沿岸部、破壊された富岡駅、荒れた町並み、歪んだ道路、廃墟のような家々、放し飼いになった牛、誰も見えない場所、満開に咲く桜並木などが次々と画面に映し出され、「とみおか荒廃していく大切な故郷に悲しみと憤りでやり切れない」と町民の気持ちや字幕として映像に重

たこの数字の科学的根拠を示してほしいと思ふ」と述べた。トールラス室の穴(II写真)を一つ以上あるコンクリートを通した。貫通時に上昇したが、再び1mSv/時に戻り、大きな変化はなかった。トールラス室内側最上部は約二百mSv/時と極めて高い値を示した。貫通時の一階作業エリアの水素は検出されなかった。今後、同社では温度計(熱電対)と線量計、カメラを吊る下げて、室内に溜まっている水などの状況を調べることにしている。

### 統合的安全確保の視点必要

#### 新安全基準シノボ

原子力発電所の新安全基準について議論するシンポジウム(日本原子力学会主催)が十七日、東京・港区の国際文化会館で開催され、原子力規制委員会の安全基準立案で中心となった更田豊志委員、学会で福島発電所事故調査を率いる田中知氏(東京大学教授)も交えて意見を交わした。

### 核不拡散政策の強化を

#### 原産協会 北朝鮮核実験に抗議

日本原子力産業協会は十四日、北朝鮮が三回目の地下核実験を十二日に実施したことを強く非難し、核兵器開発計画の全面放棄を求めた。原子力委員会は十四日、北朝鮮が三回目の地下核実験を十二日に実施したことを強く非難し、核兵器開発計画の全面放棄を求めた。原子力委員会は十四日、北朝鮮が三回目の地下核実験を十二日に実施したことを強く非難し、核兵器開発計画の全面放棄を求めた。



「とみおか未来会議」の公開討論会。とみおか子ども未来ネットワーク(市村高志代表)主催。写真：とみおか子ども未来ネットワーク

「帰還困難区域」とし、北東部の両竹、中野、中浜の三地区のみを「避難指示解除準備区域」としている。双葉町は、十三日に埼玉県加須市で開催された臨時町議会で、国から提示のあった避難区域再編案に同意した。同案では、線量に応じ

「帰還困難区域」とし、北東部の両竹、中野、中浜の三地区のみを「避難指示解除準備区域」としている。双葉町は、十三日に埼玉県加須市で開催された臨時町議会で、国から提示のあった避難区域再編案に同意した。同案では、線量に応じ

### 国提示の再編案 議会が同意

#### 双葉町 十三日に埼玉

双葉町は、十三日に埼玉県加須市で開催された臨時町議会で、国から提示のあった避難区域再編案に同意した。同案では、線量に応じ

### 内田勇夫元科技事務次官逝去

#### 動力炉開発など担当

元科学技術事務次官の内田勇夫氏が十二日、肺炎で死去した。八十一歳。通夜は二十四日午後六時から、葬儀・告別式は二十五日午前十一時から、いずれも東京・品川区の桐ヶ谷斎場で行われる。喪主は淑子氏(妻)。